

# 新規事業評価調書

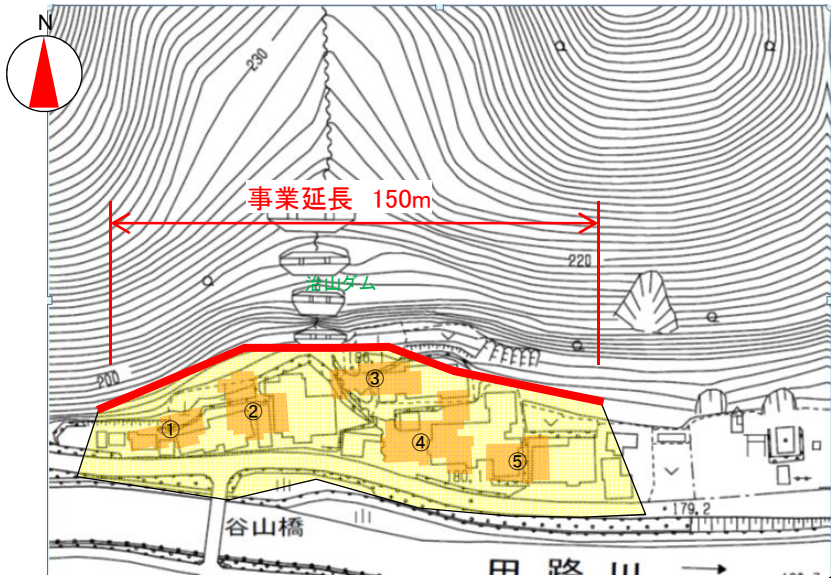
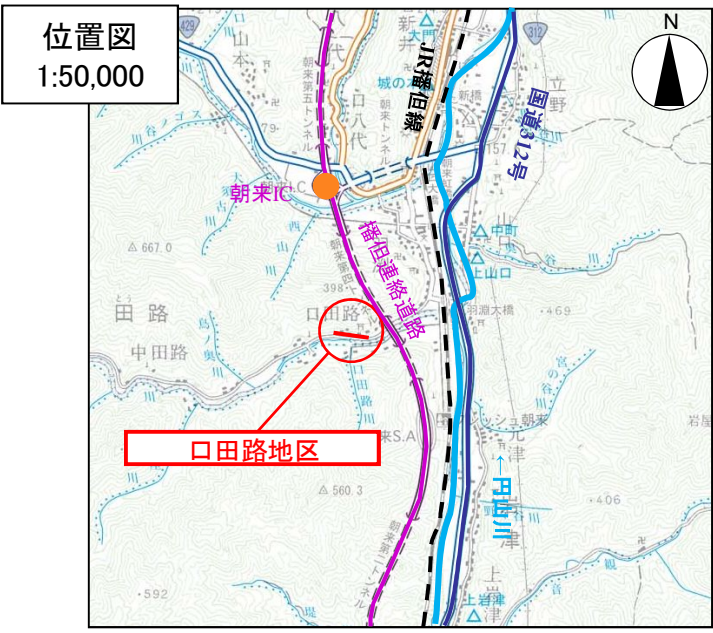
【県単独土砂災害対策事業】

口田路地区

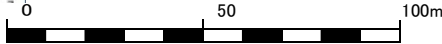
県土整備部  
土木局 砂防課

## 投資事業評価調書（新規）

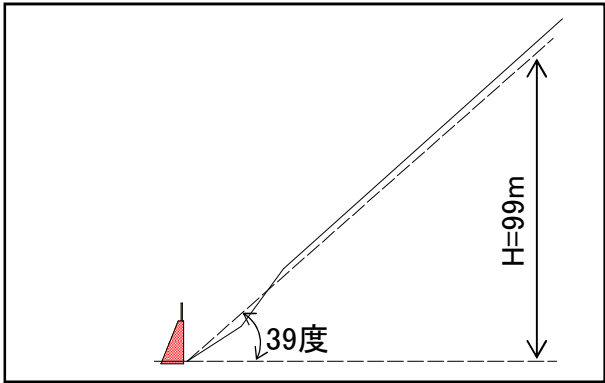
部課室名	県土整備部土木局 砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 高谷和彦 ( 班長 肥田憲明 )	内線	4459 (4467)	
事業種目	事業名	事業区間	総事業費	内用地補償費	着手予定年度	完了予定年度
急傾斜地崩壊対策事業	県単独土砂災害対策事業 くちとうじ 口田路地区	朝来市 くちとうじ 口田路	1.0 億円	—	平成 27 年度	平成 29 年度
事業目的			事業内容			
<p>当地区は、斜面崩壊の危険性が高いことから、急傾斜地崩壊危険箇所となっており、斜面の下部には人家 5 戸、市道がある。</p> <p>そのため、地域の人命・財産を守り、安全・安心な暮らしを支えるために、「第 2 次山地防災・土砂災害対策 5 箇年計画 (H26～H30)」に基づき、急傾斜地崩壊対策を実施する。</p>			<p>擁壁工 延長150m 高さ3.0m～6.0m</p> <p>【負担割合】 県： 90.0% 地 元： 10.0%</p>			
評価視点	評価結果の説明					
(1) 必要性	<p>① 口田路地区にある急傾斜地崩壊危険箇所（播但連絡道路朝来ICより南へ約1.1km）である。</p> <p>② 斜面は荒廃しており、崩壊箇所も認められ、危険な状態である。</p> <p>③ がけ直下に多くの人家が連たんしており、土砂災害の危険性が高い。</p>					
(2) 有効性・効率性 (執行環境状況)	<p>① 警戒避難体制の整備に加え、ハード整備により土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしの確保に大きな効果がある。</p> <p>② 地元要望が強く、工事に対する地元の理解が得られていることから、円滑な事業の執行が可能である。</p>					
(3) 環境適合性	① 擁壁の施工にあたり、切土面を最小限にとどめ、周辺環境との調和に努める。					
(4) 優先性	① 保全対象には人家5戸、市道がある。また、斜面には崩壊跡がみられ荒廃が進行していることから、早期事業着手を図る。					



凡例	
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:red;"></span>	事業実施箇所
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:yellow;"></span>	被害想定区域
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:orange;"></span>	保全人家等



横断図



箇所名	口田路地区
-----	-------